

みみよい

なお知らせ!

第 69 号

令和元年 12 月 15 日発行

佐賀県聴覚障害者
サポートセンターより



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語国際デー

2019 年もあとわずか。今年の 10 大ニュースをまとめました。

2. 豪雨・台風・オイル流出 3. 手話言語と聞こえ の共生社会づくり 県中西部で大被害(8 月)



条例本格施行

県議会本会議場に文字情報
表示ディスプレイ設置
情報支援者の派遣増加

4. 参議院選挙 から政見放送 に手話通訳可(7 月)



6. 手話通訳士 2 名(1 月) 手話通訳者 5 名(3 月) 合格の快挙

8. バルーン 40 回記念大会 ディズニーパレード 手話ボランティア 21 年目 (10~11 月)



1. 年号改まる 平成から令和へ(5 月)



5. 「手話を学んで みませんか」 県 CM 放映(3 月)

7. 全国障害者スポーツ 大会の情報支援に 向けて準備着手

10. 龍谷こども園・星生学園【手話】 佐賀学園【要約筆記】学習



9. バルーン写真コンテスト 3 回目

県外から多数応募(11 月)

番外 全国聴覚障害者情報提供施設協議会
前田事務局長ご逝去(6 月)



米満大九郎里帰り洋画展 1964~2019

サポートセンター 研修会議室
1 月 4 日(土)~10 日(金)

米満大九郎さんは、1946 年佐賀県白石町生まれ。佐賀県立ろう学校を経て、高等部 1 年時に東京教育大学付属高等部へ編入。これまで絵一筋の人生を歩まれました。1964 年光風会初入選、1966 年日展初入選。数々の受賞歴を経て、2014 年改組第 1 回日展入選。近々白石町の生家と所蔵画を整理されることに併せて「米満大九郎里帰り洋画展 1964~2019」を企画しました。入場料無料。

期日：令和 2 年 1 月 4 日(土)~1 月 10 日(金) 9:30~17:00

期間中は 1 月 6 日(月)も観覧できます。

オープニングイベント：1 月 4 日 9:30~ 米満大九郎氏本人による
ミニ講演会「絵描き一生」及び作品解説



シリーズ (24)

山口相談医のひと言コメント

鼓膜穿孔による難聴と対策 (その2)



さて、鼓膜の穴をふさいで聞こえが改善するのなら、「手術での聴力改善が期待できる」ではなく「手術での聴力改善がある」ではないかと思った方も多かったのではないのでしょうか？でもここはあくまで「期待できる」ということまでしか言えません。

何故なら、パッチテストで良かった方でも、手術して変わらないという事があるからです。この辺は難しいところで、鼓膜に限らない「人体の奥深さ」ということだと思います。鼓膜形成術にもいくつか方法がありますが、手術の時には単純に「穴をふさぐ」という事ではなく、どうしても鼓膜の正常な部分にも手を加える事になります。もちろん、正常な部分に悪影響がない様に細心の注意が払われるのですが、手が加わることは避けられません。また手術で触っていない部分も手術という負荷がかかるので、何らかの反応を起こしてくるのではないかと思います。機械の部品を取り換える様にははいかないということでしょう。

ちょっとそれますが、鼓膜に穴が開いていると、飛行機に乗ったりしても気圧の変化で耳が痛くなる事はないはずですが、また、文字通り風穴が空いているので、「耳が詰まってしまう」という事もないはずですが、ところが、耳垢もないのに鼓膜穿孔の方で「耳が詰まった様にあるから風通しをして欲しい」とおっしゃる方があります。本来なら鼓膜の側は行き止まりであり、耳管の動きが悪い事で、鼓膜の内外の気圧差を生じるから「耳の詰まった感じ」が生じてくる訳です。そこから考えると、穿孔があるので「気圧差」は生じないので、おかしい話といえます。ですが、これは、もしかすると、鼓膜、中耳の問題ではなく、「耳管」の問題なのかもしれませんが・・・・・・。

●巡回聴こえの相談 (要予約)

令和元年 12 月 18 日 (水) 鳥栖市役所

令和 2 年 1 月 22 日 (水) 小城市牛津公民館

令和 2 年 2 月 12 日 (水) 神埼市中央公民館

いずれも 10:00~15:00

●みみサポーター養成講座 (全 3 回)

令和 2 年 1 月 25 日 (土)、2 月 8 日 (土)、2 月 22 日 (土)

いずれも 13:30~15:00

●難聴者・中途失聴者日曜教室 「佐賀の歴史」

令和 2 年 1 月 11 日 (土)

編集後記：いよいよ 2020 です。 (5)

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/



佐賀インターナショナルバルーン フェスタ写真コンテスト審査発表

今年は第 40 回記念大会となり 16 の国と地域から 121 機が参加、92 万 8 千人の観客を魅了しました。写真コンテストも 3 回目、応募者は大阪府、富山県、大分県、などから 21 名 (うち情報支援者 3 名) 40 点が寄せられました。北村和秀氏により 12 月 3 日審査会を開き最優秀賞 2 点、他が決定しました。表彰式は 12 月 15 日に行われます。

〈北村審査員の講評〉主張したいことが考えられ、タイトルも決められている。併せて魚眼レンズを使用した作品も多い。全体的にレベルが上がり、撮影技術も向上し審査が難しくなってきました。〔入賞作品は 1 月号に掲載します〕

☆最優秀賞 (2 点)

・「一瞬の朝焼けに映えるバルーン」福丸宏美 (大阪府)

・「第 40 回記念にバルーン選手がやってきた」中島和次 (佐賀県)

☆審査員特別賞 (2 点)

・「夜明けと共に空高く」寺井友一 (大阪府)

・「あ、踏んじゃった」寺井佳子 (大阪府)



☆優秀賞 (6 点)

・「君が見えなくなるまで見届けろよ」遠山貴子 (富山県)

・「朝日に照られて」吉田敬三 (佐賀県)

・「遥かなる空へ」波多野亜美 (大分県)

・「注目!こちらが今年新しくできたバルーンです!」三瀬暉央 (佐賀県)

・「こっちにおいでよ!」福田里美 (佐賀県)

・「おかえり、気球さん!!」宮本泰弘 (佐賀県)



佐賀市長・議長に手話言語等条例の早期制定要望

佐賀市長 (代理伊東副市長) に 11 月 15 日、佐賀市議会川原田議長に 12 月 4 日にそれぞれ佐賀市聴覚障害者協会、佐賀県聴覚障害者協会、佐賀県難聴者・中途失聴者協会、佐賀県手話の会連絡協議会、佐賀要約筆記サークル「虹の会」、佐賀県聴覚障害者サポートセンターの各代表から早期の条例制定の要望書を手渡しました。



唐津市では条例策定委員会での検討、パブリックコメントを経て 12 月議会に「唐津市手話言語の普及及び聴覚障害児・者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例 (案)」が提案されました。12 月 23 日に可決見込みです。

＜開館時間＞

9:30 ~ 18:00

＜閉館日＞

毎週月曜日、祝日